

## 平成31年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	呉羽 高広
<b>全体計画</b>	令和 2年度	～	令和 4年度	<b>経費区分</b>	実施計画事業費		<b>内線</b>	3112			
<b>事務事業名</b>	12875 庁舎整備事業										
<b>所 属</b>	050100 総務部・総務課										
<b>施 策</b>	07024400 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	020101 総務費・総務管理費・一般管理費									
	<b>事業</b>	950000 庁舎整備事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
本庁舎の劣化部分を改修し、安全・安心な環境の維持を図る。						<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度市役所庁舎劣化調査で「危険性があり、短期（3年以内目安）での修繕が必要」と診断されている劣化箇所のうち、優先的な対応が必要と判断される本庁舎屋根、防水シート、ボイラー用煙突の改修を行う。</li> <li>・非常用発電設備の自動切替えシステムは、平成10年に導入し19年を経過、故障時の修繕対応が不可となっている。システムの改修を行うことで非常時の自家発電環境を良好に確保することができる。</li> </ul>					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
事業なし	庁舎エレベータ改修工事の実施
<b>平成29年度 実績</b>	<b>平成30年度 実績</b>
事業なし	非常用発電自動切替システム更新
<b>平成31年度 予定</b>	<b>令和 2年度 予定</b>
該当する事業があれば実施	該当する事業があれば実施

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		3,888	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,888	0
人員数(人)	正規職員	0.3	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,145.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,145.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		6,033.0	0.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	3,888	非常用発電自動切替システム更新工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	必要不可欠である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	庁舎機能維持に有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	該当がある場合実施	

振り返り（決算年度の取組み課題）
適切に実施した。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
1964年竣工した本庁舎は、平成30年度に市庁舎改修優先度調査を実施し、耐用年数の目安を80年とし、2044年度までの25年間使用することとした。必要な労働環境の確保と市民サービス提供のため必要な改修を優先度を定めて実施する。		本庁舎の劣化部分を改修し、安全・安心な環境の維持を図るため、必要に応じ対応する。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	